

＼ これ、できるかも！ ／

寄付募集のアイデア事例集

募金活動において特色ある学校法人の取り組みをご紹介します。
外部資金獲得に向けてご参考に。

プレゼント付き
寄付

クラウド
ファンディング

ふるさと納税
の活用

トップ自ら
募金を牽引

用途を選べる
寄付

感謝の声を
届ける

特典会員
カード

事例の詳細な内容は、私学事業団のホームページに掲載しております。
各事例のQRコードからアクセスしてください。

私学経営
情報センター
私学情報室

Mail: center@shigaku.go.jp

私立学校寄付金ポータルサイト ご活用ください <https://kifu-portal.shigaku.go.jp/>



学校法人
青山学院

学生の学びを止めないために、 理事長が本気で寄付を集め、 職員は自ら試行錯誤し変革する。

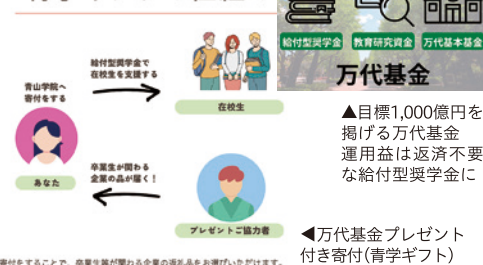
事例の詳細は
WEBで



「学生の学びを止めない」という大義のもと、複数の募金事業を展開しています。中でも、万代基金のプレゼントつき寄付(青学ギフト)は、寄付金額に応じた返礼品を受け取ることができ、寄付者へ感謝の想いを伝えています。また募金活動では、理事長自ら学外の方に積極的に会いに行くとともに、学内では理事長直下

に募金組織を配置し、学内外に理事長の本気・覚悟を示しています。学校と寄付者との距離を縮めることを目標に、時代に即した新たなアイデアの速やかな実行も大切にしています。職員が失敗から学ぶことや職員が外部の方とつながる機会の増加は人材育成の観点からも重要です。

青学ギフトの仕組み



学校法人
北里研究所

大学等の所在する自治体から ふるさと納税を通じた支援。 寄付金の払込方法の拡大。

事例の詳細は
WEBで



同法人では、複数のキャンパスを置いており、それぞれが位置する東京都港区、北海道八雲町など3つの自治体からふるさと納税を通じた支援を受けています。港区では、区へのふるさと納税の使途として、同大学への支援を指定することにより、寄付金額の一部が補助金として交付されます。また、八雲町では、獣医学部

が町と連携して「北里八雲牛」の生産拡大と畜産を担う人材育成を目的としたプロジェクトを立ち上げ、その関連製品を返礼品としています。さらに近年、学校法人への直接の寄付においてクレジットカードとペイジーを導入しました。これにより従来と異なる層からの寄付も集まっています。

▼寄付専用ではなく法人サイト内に支援ページを設置



学校法人
国際基督教大学

Pay Forward(恩送り)の精神 目標の2倍超の寄付金が集まった クラウドファンディングへの挑戦。

事例の詳細は
WEBで



同法人では、一人でも多くの学生に教育機会を提供するため様々な募金活動を展開し、学費負担の軽減に努めています。新たな取組として、正規学生となったウクライナ学生5人の学位取得までの学びを支援するため、クラウドファンディング「ウクライナ避難学生の学位取得を支援!」を実施しました。クラウドファン

ディングサイトで500万円の寄付を呼びかけたところ、掲載期間約3か月で335人から10,704,000円が集まり、通常の募金活動よりも早く目標額を達成し、また法人と関わりのない方からの寄付が多数あるなど、高い利用効果がありました。



▼集まった応援メッセージは学内に掲示された



学校法人
実践女子学園

「普段からつながりを作る」
「勇気を持って願ひする」
「何度も御礼をする」を大事に。

事例の詳細は
WEBで



幅広いステークホルダーに向けた「さくら募金」、保護者に向けた「教育振興協力資金」、教職員に向けた「教職員奨学資金」の3事業を展開しています。同法人では、ステークホルダーとの「つながり」を大切にしています。特に卒業生との「つながり」作りには力を入れており、同窓会組織との関係性の構築・強化や卒業生

向けの情報発信を積極的に行っています。「つながり」作りは、寄付の獲得に直結するものではありませんが、寄付の機会を広げることにつながると考えています。募金に関しては、「普段からつながりを作る」新しい方法を取り入れ「勇気を持って願ひする」「何度も御礼をする」を活動の根幹に置いています。

▼恒常的な募金を目指した「さくら募金」



▲寄付申込書付き年賀状(学生デザイン)

学校法人
成蹊学園

寄付を通じて卒業生を応援
卒業後の活躍を知ることでもでき、
「オール成蹊の絆」を深める。

事例の詳細は
WEBで



「心のふるさと寄付」は、卒業生との絆を活かし、法人への寄付金額に応じた返礼品を卒業生が経営する企業から贈呈する制度です。卒業生企業の認知度UPなど卒業生の応援につながるとともに、卒業生の活躍を他の卒業生が知ることになり、卒業生同士の絆も深まります。この寄付方法を設けている寄付募集の

枠組み「宇は大なり～成蹊教育応援団」では、寄付金の累計額に応じて3つの会員種別を設けており、上位の会員になると、同法人の研修・宿泊施設である「箱根寮」の先行予約や優待料金での利用、大学の「情報図書館」での図書閲覧・貸出といった特典を受けられるようになります。

▼寄付募集サイトには寄付者からのメッセージも掲載



▲成蹊教育応援団では寄付累計額に応じた会員カードを進呈

学校法人
東京経済大学

卒業生の強い愛校心を育てるため、
芳名板の設置や芳名録を工夫。
同時に理事長自ら関係強化に奔走。

事例の詳細は
WEBで



卒業生が在学学生に対して就職相談など就職支援を行う組織を構築するなど、「母校に恩返しをしたい」という愛校心の強い卒業生が多く、寄付件数の9割を卒業生が占めています。創立120周年の募金では、寄付累計額が1万円以上の方の芳名板を館内に設置しており、母校に貢献できた証として卒業生から大きな反響

がありました。卒業生同士の横のつながりも強く、同周年募金の芳名録に記載された同窓会支部ごとの目標額達成率によって、他の卒業生の寄付を意識することができ、「自分も」という動機につながっています。さらに理事長は卒業生の企業や継続寄付をしている方を直接訪問し関係強化に努めています。

▼寄付ページは大学WEBサイトから1クリックで遷移



▲創立120周年記念事業募金寄付者芳名板

学校法人
東京電機大学

「寄付感謝の集い」で、 支援を受けた学生の「生の声」で 寄付者に感謝を伝える。

事例の詳細は
WEBで



同法人では、寄付者に感謝するとともに募金活動に対する理解を深めることを目的として「寄付感謝の集い」を開催しています。従来、寄付者を招いて開催していましたが、コロナ禍以降はオンデマンド配信で継続しています。一番のポイントは、支援を受けた学生たちの「生の声」を届けることです。動画の作成は学生

に任せており、学生が直接寄付者に語りかける趣向です。寄付への感謝の言葉とともに、日頃の活動内容や成果、寄付金の使途を伝える「生の声」は、プログラムの中でもひととき注目を集め、寄付者の心を動かし継続的な寄付を促しています。

▼インターネットで
寄付する高齢の卒業
生も少なくない



▲「サポート募金寄付感謝の集い」WEBページ

学校法人
久留米大学

同窓会と寄付の情報共有を実施。 お礼の特典カードで 地元の地域経済の発展に寄与。

事例の詳細は
WEBで



同法人では、在校生の保護者や卒業生、医療法人から多くの寄付を受けています。特に同窓生からの寄付が多いため、会報誌で寄付制度のご紹介や寄付のお願いを掲載していただいています。2020年に新設された「新時代を拓く久留米大学募金」では、奨学金制度の充実、部活動、施設整備、医療など8つの使途から選

択でき、寄付者(個人一口1万円以上、法人一口10万円以上)には特典カードが進呈されます。このカードを活用すると地元の提携レストランや施設利用、同大学の公開講座での割引などが受けられ、地域経済の発展にも寄与しています。今後は大学の特色を活かした特典も検討中です。

▼学生・教職員の
感謝の声を充実
させた支援サイト



▲提携先で割引等が
受けられる寄付者特
典カード

学校法人
中村産業学園

“使途を明確に設定する” 寄付者が応援したいテーマを 選択できる使途指定型の募金事業。

事例の詳細は
WEBで



同法人の開学60周年に伴う体育館新設に関する募金活動は、使途が明確、かつ「大楠アリーナ2020」に芳名板を付すという特典が好評を博しました。その後、使途を明確にした「九州産業大学テーマ募金」を開始し、令和5年度は、「文理芸が融合した教育プログラム」、「サークル活動の活性化」等の13のテーマを設けてい

ます。現在は、累計5万円に達した個人の寄付者を対象に、「大楠アリーナ2020」座席に芳名プレートを設置する取組を行っています。また、SNS等を通じて同大学の情報を配信するなど、地道な活動と新たな取組を進めながら、理事長をはじめ教職員一体となって寄付に対する意識を高めています。

▶テーマ募金活動報告
書も親しみやすく工夫

▼古本募金や自動販売機利用
募金、選贈等も紹介

